



[Mille Plateaux Raster-Noton](#)

ドイツはケムニッツ出身のCarsten Nicolai(1965年生)によるソロプロジェクト、
庭師として一年間働く。1985年から1990年まで、ドレスデンにて景観デザインについて学ぶ。
1994年に設立したNoton.archiv für ton und nichttonは、後(1999年)にRastermusicと合体しRaster-Notonとなる。
Photo by [Non Event](#)

Noto

非常に実験的なミュージシャンであり、それはAlva Notoの前身であるNotoでも同じである。
その姿勢がよく現れている作品として、[ソノシート](#)が付属する冊子"Endless"(1997)「電話やファックス、ラジオの受信音、人の話し声やシンプルな正弦波による45秒間72の音源からなるループを100日間に渡りカッセル市内の空港など、日常の生活風景のなかに侵入させたもの。」(*1)である" "(1997)、「30トラック収録中、最初の20トラックはパルスを伴った周波数音で、残りの10トラックは50hzから8000hzのテスト周波数とホワイト・ノイズを使用。CDプレイヤーをビデオの入力端子につなぐ事によって映像も再生可能」(*2)である"Telefunken"(2000)などが挙げられる。
(*1),(*2)の引用元:[Macmanus Records](#)

Alva Noto

2000年代前半よりNotoよりAlva Notoへ徐々に名義をスイッチし始める。Alva Notoとしての第一作品は2000年に[Mille Plateaux](#)よりリリースした"Prototypes"だった。
2001年に[Opiate](#)との合作である"Opto Files"を発売した。
またこの年よりTransallシリーズのリリースを開始。1st、2nd、3rdとパートが分かれており、それぞれアルバム *Transform* と *Transrapid* が1st、*Transvision* が2nd、*Transspray* が3rdとraster-nortonの公式サイトで紹介されている。

コラボレーション他

2006年にリリースされた"For"、そして2010年のFor2は、ある人物やモノへの献呈をテーマに作曲されている。それぞれの人物と制作年は以下の通り。

For1

- Track 1: エルフリーデ・イエリネク(オーストリアの小説家), 2005
 - Track 2: スーチャン・キノシタ(オランダで活動する芸術家), 2005
 - Track 3: TVpow (不明), 2004
 - Track 4: ピーター・ローア(23歳で夭折したドイツの画家), 2004
 - Track 5: アーニーとパート(セサミストリートのキャラクター), 2005
 - Track 6: 葛飾北斎, 2000
 - Track 7: ジョン・バランス(イギリスのインダストリアルバンドCoilで活動したミュージシャン), 2004
 - Track 8: ジェフ・ウォール(カナダの芸術家), 2000
 - Track 9: ジョン・ケージ, 1999
- (参考:[discogs](#))

For2

- Track 1: 衣服全般?, 2007
 - Track 2: マルタ・フォイトワングァー(ドイツの作家リオン・フォイトワングァーの妻), 2003
 - Track 3: Chain Music([坂本龍一のプロジェクト](#)), 2003
 - Track 4: ハイナー・ミュラー(ドイツの劇作家), 2007
 - Track 5: アンドレイ・タルコフスキー(ソ連の映画監督), 2008
 - Track 6: カメラ・ルシダ(画家が素描やスケッチを描く際の補助に使った光学装置), 2007
 - Track 7: ディーター・ラムス(ドイツのインダストリアルデザイナー), 2007
 - Track 8: 同上, 2007
 - Track 9: フィル・ニブロック(アメリカのインターメディアアーティスト), 2006
 - Track 10: The Kingdom Of Elgaland-Vargaland ([架空の国家?](#)), 2006
 - Track 11: エフゲニー・マージン(ANSシンセサイザーの発明者), 2007
 - Track 12: ハイナー・ミュラー, 2007
- (参考:[discogs](#))

坂本龍一とのコラボレーションも有名であり、リリース面では *Vrioon* (2002)や *Insen* (2005)、*Summvs* (2011)などがある。ライブ活動も行っており、2005年12月6日には[日本で公演した。](#)

音楽以外の影響

雪の結晶を研究した[中谷宇吉郎](#)や、池上高志の[論文](#)などを、インスピレーションを受けたものとして挙げている。

使用機材/ソフトウェア

- Edirol midi UM-15X
- Live5.0
- Fireface 400
- Max/MSP
- Mackie 1402

オススメアルバム



Summvs

坂本龍一とのコラボレーションアルバム。

Sample(Spray)
